

# わたし 未来へつなぐ 私たちが未来へつなぐ

豊かな海の幸に恵まれた明石。明石の海の特徴や、海の資源を守る取り組みについて、こどもレポーターが取材してきました。

## 1 明石には海の幸がたくさん!

明石の海ではどんな魚がとれるのかな?  
明石浦漁業協同組合(岬町)で話を聞きました。

明石タコは陸でも立って歩けるんだって!



タコ

激しい潮の流れで、もまれるから足が太くて短く、力強い



ノリ

全国トップクラスの生産量



タイ

「明石鯛」は全国でも有名です

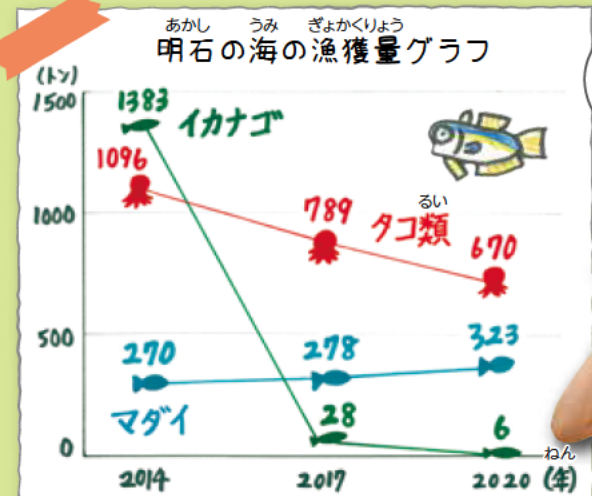


イカナゴ

明石に春を告げる魚です

## 3 明石の魚が減っているって本当?

実は今、明石の海がピンチ? 魚がとれる量が減っているんだって。東二見漁業協同組合(二見町東二見)で教えてもらいました。



イカナゴはとれる量が減って高級品に!?



東二見漁協では、タコの漁獲量が多い時の10分の1に減少しているそう。

## 2 明石浦漁協の中も見学させてもらったよ



漁船

漁場が目の前だから、漁船からすぐにいけすへ



いけす



迫力満点のセリ

鮮度を保つために、漁師さんたちは大急ぎ!



明石浦漁業協同組合 土井 祐介さん

こうやって、新鮮な魚がお店に並ぶよ

明石の海では、年間約100種類の魚がとれます。明石海峡の早い潮の流れで身が引き締まった明石の魚は「まえもん」と呼ばれていて、すごくおいしいんですよ。

## 4 どうして魚が減ってるの?

海の豊かさのポイントは、海水の中の「栄養塩」。今の海は水がきれいになり過ぎて栄養塩が不足し、魚のエサになるプランクトンが少なくなった結果、魚が減っているのです。

海水がきれいにすぎると、海の生き物にとっては良くないんだ



海の生き物たちは栄養塩によって支えられています。

# ゆたかな海 豊かな海

## 海の豊かさを守る取り組み

海と魚を守るためのさまざまな取り組みが行われています。



稚魚放流

タイやヒラメなどの稚魚(魚のこども)を放流しています。海の資源を増やす取り組みです。



タイの稚魚は3年くらいで大人になるんだって



海底を耕して豊かな海に

海底耕うん

漁船が「耕うん桁」を引いて海底を耕し、海底に沈んでいる栄養塩を海水に戻します。



タコつぼの絵付けを体験したよ

タコつぼ

タコは1匹で10万個の卵を産むよ!

卵が産み付けられたタコつぼ

タコが安全に産卵できるように、産卵用タコつぼを海に投入しています。タコつぼは、卵がかえるまでの隠れ場所にもなります。

## 海の豊かさを取り戻す

かいぼり



ため池の水を抜き、池の水や泥に含まれる栄養分を海に届けます。

ため池の栄養を海へ

かいぼりには漁師さんも参加するよ!

## 私たちにできること

豊かな海を守るための取り組みを取材して、自分たちにどんなことができるか、こどもレポーターのみんなで考えてみました。

魚を実際に食べる

まずは、明石でとれた魚を食べて、そのおいしさを知ってほしい。



できることから始めてみよう!

明石の海や魚について知る

食べた魚がどんな環境で育っているのか。どの時期にどんな魚がいるのか。明石の海に興味を持ってほしい。

海や砂浜にゴミを捨てない持ち帰る

海の生き物に影響を与えるプラスチックゴミや、網にかかったルアーの針で漁師さんがけがをすることも問題になっています。海の中にルアーがごんなに!

